

私の留学体験記

広島県立湯来南高等学校 3年 藤原 桃華 (ふじはら ももか)

留学期間 令和元年12月5日 ~ 令和元年12月18日 (14日間)

留学先 Haverfordwest High VC School (ウェールズ, イギリス)

ハーバーフォードウェスト校の人たちはみんな優しく、私より3つ4つ歳が下の子たちの方が賢く、しっかりしていて、自立しているなど感じました。今回、日本に来た姉妹校の生徒達もみんな14歳か15歳の子ですが、落ち着いていて、自分の考えをしっかり持っている子達で、私よりも大人だと思いました。でもやはりまだ中学生なので子供らしい一面もあり、学校でドッジボールをしたり、首都観光では私たちよりも興奮したりして、可愛らしかったですし、見ていてとても心安らぎました。子供だけでなく、ホストファミリーのお母さんやお父さんもとても大らかで、心が寛大で、「何とかなる」の精神ですごく安心でき、リラックスして2週間を楽しく過ごすことができました。

しかし、食事と時差のせいで最初の2, 3日は体調が良くなかったです。日本では無い味付けや食材を食べ、時差が9時間あるので昼夜逆転した生活なので、気持ちは元気でも身体はともしんどかったです。でも、ホストマザーが「疲れたら休む、お腹が空いたら食べる、お風呂に入りたいときに入る。そんなに気を遣わなくてもいいから、日本にいたときのように、普通に過ごしてね。」と言ってくれて、それがとても心に余裕を持たせてくれました。

ホストファミリーの方々にはとても感謝しています。休日には動物園やビーチ、アイススケートやパントマイム、その他にも様々な所に連れて行ってもらいました。それにかかったお金も全て出して頂いて、感謝してもしきれません。私が好き嫌いが多くて、残しても嫌な顔一つせず、「大丈夫、無理しないで。」と言ってくれて本当に申し訳なかったです。

私は、この留学に行ったことを生かして外語学校に進学することに決めました。留学に行っても楽しかったのですが、なかなか自分から進んでコミュニケーションを取ることができませんでした。何故なら英語が話せなかったからです。きっと英語をもっと喋っていたら倍以上楽しむことができたのではないのかなと思います。外語学校へ進学し、英語がペラペラになったら、またイギリス・ウェールズに行き、今回ホームステイを受け入れてくれたホワイト家のみんなに会いに行きたいと思います。

今回の留学は私にとって、将来を決める貴重で大切な思い出となりました。この2週間という長いようで短い期間を忘れません。今回の留学に関わったみなさん、留学に行かせてくれた家族、この体験をさせてくれて本当にありがとうございました。